

●向井池北側エリアの修景について（どんぐりの森づくりプログラム）

□目的

- ・地域の子どもたちを対象に、公園内のどんぐりを使い、森づくり・育む機会を提供し、環境学習機能の向上と地域との連携を図る。
- ・植樹後の経過を子どもたちに知ってもらうとともに、継続的な苗木の手入れや観察を行うことで、自然を慈しむ心を養い、自分たちの手で成長させる喜びを感じてもらう。

□対象者

- ・地域の小学校中学年～高学年等
(小学校の課外授業やPTAの親子参加型プログラム等で参加してもらう)

□ルール

- ・本プログラムは、公園内の様々などんぐりを、時間をかけて育成するものである。
- ・植樹したどんぐりが、全て順調に成長するとは限らない。
- ・植樹後も手入れを、府とともに継続的に行ってもらう。
- ・当公園では、「生き物を持ち込まない・持ち出さない」ことを原則としている。

□内容

STEP1：どんぐり拾い

- ・初年度の秋、コラボレーション区域の樹林内でどんぐりを拾う。
- ・拾ったどんぐりの一部を使った工作会も実施し、子どもたちに楽しみながら自然に触れてもらう。



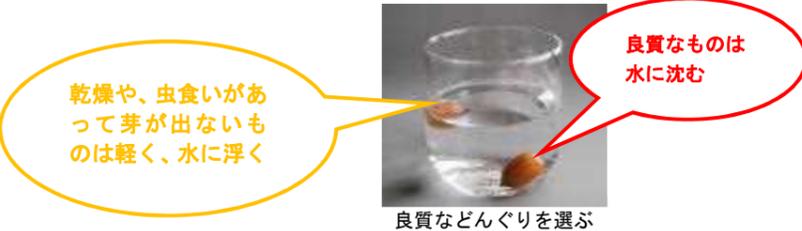
どんぐり拾いの様子



工作会の様子

STEP:2 苗木の育成

- ・拾ったどんぐり（水を張った容器にどんぐりを入れ、沈んだものを育成に利用）は、ペットボトル等を利用した簡易ポットに、土や落ち葉と一緒に植える。
- ・水やりを春、夏は毎日行い、特に夏は乾燥に注意する。秋は土が乾いたら水やりをする。
- ・小学校では環境学習の一環として、クラスで苗木の世話をし、親子参加型プログラムでは、各家庭に持ち帰り苗木を育てる。



良質などんぐりを選ぶ



小学校でのどんぐりの苗木育成の様子

STEP3：どんぐりの木の植樹祭

○苗木の植樹

- ・どんぐり拾いの翌年の秋、植生回復エリアで成長した苗木を植えてもらう。
- ・園内ではコナラ、クヌギ、アラカシなどのどんぐりがあり、クヌギの苗木は成長が早く、1年で高さ約50cm、コナラは高さ約20cmに成長する。



植樹の様子



エリア毎に植樹を行う様子



植生回復エリアの区画割案(イメージ)

○記念プレートの作成・設置

- ・植生回復エリアでの植樹後は、園内の伐採木や伐採竹を使った記念プレートをつくり、グループ毎にプレートを取り付ける。



記念プレート設置の様子



記念プレートのイメージ

STEP4：苗木の手入れ・成長記録

- ・植樹した苗木の手入れ（水やり、除草等について、みんなの手でどんぐりの森を継続的に作り・育む活動を展開する。
- ・苗木の成長の観察を行い、樹高の測定やスケッチ等を行う。子どもたちには、観察を通して楽しみながら自然について学んでもらう。



苗木に水やりをする様子



苗木の観察を行う様子



苗木の成長記録帳のイメージ